

科目名 (科目番号)	実践臨床画像学 (時間割参照)	教員名	診療放射線学科 教員	学科等	診療放射線	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	講義	オフィスアワー	各教員シラバス参照	
授業概要	診療放射線技師の業務拡大にともない、令和6年度から新たに「実践臨床画像学」が設けられることになった。本授業では、静脈路の確保と抜針および止血の手技、上・下部消化管カテーテル操作に関する能力の実践的な学習、RI検査のための放射性薬剤注入の手順および清潔下における動脈路への造影剤経路の接続手技を必修化するとともに、造影剤の薬理学的作用、アナフィラキシー等の重篤な副作用、一次救命措置、そして業務上問題となる感染症の制御等について学習する。							
目的・目標	目的:業務拡大における新たな診療放射線技師に必要な知識を学ぶ。 目標:臨床で実践可能になるための基礎知識を身につける。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	診療放射線技師の業務の基礎知識（武井）	到達目標:実践臨床画像学での基礎知識を理解する。 学習内容:実践臨床画像学で使用される物品や用語等について学習する。					
	2	静脈路確保の基礎と動脈路からの造影剤注入の原理と安全管理	到達目標:血管確保に必要な解剖学的知識を理解する。 学習内容:血管確保に必要な解剖学的知識を学習する。					
	3	各種造影剤の薬理作用（副反応）と安全対策	到達目標:ヨウド造影剤,バリウム等の薬理学的作用を理解する。 学習内容:ヨウド造影剤,バリウム等の薬理学的作用を学習する。					
	4	各種造影剤および放射性医薬品の薬理作用（副反応）と安全対策	到達目標:MRIや超音波検査の造影剤と放射性薬剤の薬理学的作用を理解する。 学習内容:MRIや超音波検査の造影剤と放射性薬剤の薬理学的作用を学習する。					
	5	X線CT検査の造影剤注入の原理と安全管理	到達目標:造影CT検査における注入の手順と安全性について理解する。 学習内容:造影CT検査における注入の手順と安全性について学習する。					
	6	MRI検査の造影剤注入の原理と安全管理	到達目標:造影MRI検査における安全性について理解する。 学習内容:造影MRI検査における安全性について学習する。					
	7	上部・下部消化管検査の造影剤注入の原理と安全管理	到達目標:上部・下部消化管検査の造影剤注入の手順と安全性について理解する。 学習内容:上部・下部消化管検査の造影剤注入の手順と安全性について学習する。					
	8	放射性医薬品投与の原理と安全管理	到達目標:放射性薬剤注入の手順と安全性について理解する。 学習内容:放射性薬剤注入の手順と安全性について学習する。					
成績評価の方法・基準	小テスト30点＋期末試験70点の配点							
教科書								
参考図書	毎回資料を配布する。							
教員からのメッセージ	静脈確保などの業務拡大における新たな診療放射線技師に必要な知識と技能を習得します。病院での勤務した診療放射線技師がこの授業を担当します。							